【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2013-31606(P2013-31606A)
【公開日】平成25年2月14日(2013.2.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-008
【出願番号】特願2011-170018(P2011-170018)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　23/26　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　23/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/04　３６０Ｅ
Ｇ０２Ｂ　23/26　Ｄ
Ｇ０２Ｂ　23/24　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年8月4日(2014.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
一方の端部にレンズが装着された光伝送媒体と、
前記光伝送媒体の他方の端部近傍に装着され、前記光伝送媒体の外周を覆う被覆部材と、
前記レンズから取り込まれ前記光伝送媒体を通過した光学像を光電変換する画像変換部と、
前記光伝送媒体が貫通する第１貫通孔が形成され、前記第１貫通孔に前記光伝送媒体が貫通した状態で、前記画像変換部の所定位置に前記被覆部材を着脱可能に接続する接続部材と、
前記被覆部材と前記接続部材との間に設けられ、前記被覆部材を前記所定位置に接続する際に前記被覆部材を前記画像変換部の方向に付勢する弾性部材と、を備え、
前記画像変換部は、前記光伝送媒体を通過した前記光学像を反射させる鏡面部材を有し、
前記所定位置は、前記被覆部材から突き出した前記光伝送媒体の他方の端部が、前記鏡面部材の端部に当接する位置であり、
前記第１貫通孔の径は、前記レンズの外径より大きく、前記弾性部材の外径より小さいことを特徴とするファイバースコープ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明のファイバースコープは、一方の端部にレンズが装着された光伝送媒体と、前記光伝送媒体の他方の端部近傍に装着され、前記光伝送媒体の外周を覆う被覆部材と、前記レンズから取り込まれ前記光伝送媒体を

通過した光学像を光電変換する画像変換部と、前記光伝送媒体が貫通する第１貫通孔が形成され、前記第１貫通孔に前記光伝送媒体が貫通した状態で、前記画像変換部の所定位置に前記被覆部材を着脱可能に接続する接続部材と、前記被覆部材と前記接続部材との間に設けられ、前記被覆部材を前記所定位置に接続する際に前記被覆部材を前記画像変換部の方向に付勢する弾性部材と、を備え、前記画像変換部は、前記光伝送媒体を通過した前記光学像を反射させる鏡面部材を有し、前記所定位置は、前記被覆部材から突き出した前記光伝送媒体の他方の端部が、前記鏡面部材の端部に当接する位置であり、前記第１貫通孔の径は、前記レンズの外径より大きく、前記弾性部材の外径より小さいことを特徴とする。